



平成27年8月7日

各 位

三重県四日市市日永二丁目3番3号
アップルインターナショナル株式会社
代表取締役会長兼社長 久保 和喜
(コード番号：2788 東証二部)
問合せ先 取締役管理本部長 清水 茂記
TEL (059) 347-3515

平成27年12月期第2四半期連結累計期間の 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年2月19日に公表しました平成27年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

平成27年12月期第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年6月30日）業績予想数値の修正

【 連結 】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益 及び 四半期純損失 (△)	1株当たり 四半期純利益 及び 1株当たり 四半期純損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,009	271	170	99	7.90
今回修正予想 (B)	11,081	588	419	289	23.23
増減額 (B - A)	3,072	317	249	190	—
増減率 (%)	38.4	117.3	146.6	192.4	—
※ (ご参考) 前期第2四半期実績 (平成26年12月期第2四半期)	20,005	429	30	△139	△11.23

※前期第2四半期実績（平成26年12月期第2四半期）の数値につきましては、中国子会社のPRIME ON CORPORATION LIMITED及びその子会社4社を連結子会社として含まれていた数値でございます。

当該子会社は、当第1四半期連結会計期間より連結子会社から持分法適用会社へ異動しております。当該連結範囲の変更による影響の概要は、連結財務諸表の純資産額及び総負債額の減少、連結損益計算書の売上高、売上原価、販売費及び一般管理費、並びに営業外費用の減少であります。

詳細につきましては、平成27年2月16日の子会社の異動に関するお知らせをご参考下さい。

2. 修正の理由

輸出版売事業において主に東南アジア諸国向けの高額車両販売が好調に推移し、当初予定していた販売台数を大幅に上回りました。また、円安の好影響を受け市場が活発となった結果、第2四半期連結累計期間の業績予想の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益については、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

3. 通期の業績予想について

平成27年12月期の通期業績予想につきましては、平成27年2月16日の「子会社の異動に関するお知らせ」において開示したとおり、中国事業の縮小に向け取り組んでおりますが、現時点において完結しておりません。

従いまして、中国持分法適用会社において発生する持分法投資損失及び縮小の際に発生する損失につきましても依然、懸念材料として予想されます。

これらの状況を勘案した結果、平成27年2月19日に公表いたしました通期業績予想は、現時点では業績への反映を合理的に見積もることが困難な状況であるため、修正せず今後明確になり次第、速やかに開示いたします。

以上